

自己点検・評価シート

平成25年度 第9次鳥取市総合計画

整理No.		所属名	教育委員会事務局 体育課
事務事業名	学校給食費未納対策事業		

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む
	施策	1102	教育の充実

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	学校給食費未納者
意図 (どのような状態にするために)	未納者の解消と学校給食会計の適切な運営
手段 (どうするのか)	補助金交付による各給食センターの円滑運営 主に支払督促申立て・差押命令申立て等法的措置等

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	継続分を含めた法的措置 10件	継続分を含めた法的措置 10件	継続分を含めた法的措置 10件	継続分を含めた法的措置 10件	継続分を含めた法的措置 10件	
	年度別実績	新たな法的措置 なし	新たな法的措置 3件	新たな法的措置 2件			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	4,081	3,885	3,239	606		
	直接経費 A	2,581	2,399	2,510	606		
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0			
		地方債	0	0			
		その他	923	1,370	889	500	
	一般財源	1,658	1,029	1,621	106		
人件費 B	1,500	1,486	729				
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.10			
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00			
	臨時職員	0.00	0.00	0.00			

4. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>1 事業の概要 教育委員会及び学校による段階的な未納対策を行っても徴収できない、学校給食費未納金の生じた学校給食センター運営委員会に、未納補てん補助金を補助することにより、本市及び各学校における学校給食会計の円滑な運営を図る。</p> <p>2 事業の成果 平成24年度分に学校給食費未納金の生じた学校給食センター運営委員会に対して、未納補てん補助金を交付した。前年度交付した補助金と比較して増額となった。 新たに2件の法的措置を行い、2件とも年度内に完納となった。 児童手当からの学校給食費引去額は、前年度より増加した。</p>
-----------	--

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	学校給食費の納付率	%	目標	99.55	99.6	99.65	99.7	99.7
		(指標の説明) 給食費総額に占める給食費納付済額の割合		実績	99.55	99.52	99.59		
2				目標					
	(指標の説明)			実績					

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	学校給食費の納付率	%	100.0%	99.9%	99.9%	99.8%	
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	学校給食会計の円滑な運営のため未納対策は必要である。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	学校給食会計の円滑な運営のため未納対策は必要である。
資源投入の効率性	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	どうしても徴収できない未納金のため補てん補助金を交付している。
サービスの公平性	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	保護者負担の観点から公平性は求められている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	学校給食費未納額及び未納者を増加させないため、法的措置を含めた対策等、効果的な実施方法を検証しながら継続的に実施する。	
今後の課題・方向性	法的措置を視野に入れつつ、学校及び他の徴収業務とも連携を図りながら、効果的な実施方法を検証する。	

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	学校給食会計の適切な運用のためには必要な事業である。学校給食費未納者に対する法的措置は仕方がないことではあるが、学校給食費未納者が出てくる根本的な原因を明らかにして、そこを解決しないことには、あくまで対処療法で終わってしまいますのでは。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	市の他の債権管理部門との連携など、未納者からの徴収を行う手法は改善されている。また、児童手当からの引去への理解を求めるなど、未納者を発生させないための取り組みも行われている。経済的に困窮する家庭への対策は別途用意されており、適切な評価であると思われる。
--------	--